Ver.20250401

記入要領、記入例（青字）は削除して提出ください

**（計画書様式1）**

【本計画書】は、本事業の基本計画です。誤読を誘わない、わかりやすい表現での記入を心がけてください。

基本的に、公募時の申請書様式1の内容を転記する形で作成ください。申請書様式１の内容から変更・追加等を行った場合は、該当箇所に黄マーカーをつけてご提出ください。なお、令和6年度計画書様式1から自明の内容であれば、黄色マーカーは不要です。

採択通知に採択の条件やコメントがある場合、それを反映してください。

申請書にもとづいた記載であっても、JSTから変更の検討を依頼させていただく場合があることをご了承ください。

フォントはMS P明朝、サイズは10.5とし、行間は固定値18としてください。

**次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）**

**令和7年度計画書**

2025年2月18日提出

　**基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 博士後期課程学生支援プロジェクトの題目 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
|  |  |
| 大学の情報 |  |
| 機関名 | ○○法人　○○大学 |
| 事業統括 | － |
| 氏名 | ○○　○○ |
| 所属部局・部署 | ○○○○○○○○ |
| 職名 | ○○○○○○○○ |
| 研究倫理受講確認番号 | ○○○○○○○○ |

※1 2大学以上での共同の場合は同体裁で大学情報を追記ください。主幹大学の事業統括について、「事業統括（主幹）」と書き換えください。

※2 事業統括においては、採択の際、貴学独自の研修または「eAPRIN（旧CITI）」の指定単元を受講・修了していただくことを義務づけております。

**改訂履歴**

本計画書様式1を改訂する際に使用する表です。

下記に変更内容等を記載の上、計画変更申請書または変更届と共に提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 変更提出日 | 変更内容 |
| 例示 | 1 | 20○年○月○日 | 事業統括の変更詳細は20○年○月○日付助成事業計画変更申請書を参照。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**１．ビジョン（FY2033のありたい姿）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※1 以下に留意の上、FY2033のありたい姿を記載ください（１頁以内）。適宜、図や表を活用ください。

・我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生の育成や増加に寄与

・博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備

・社会のニーズの変化を踏まえた戦略的な変革が推進可能な博士課程教育システムを整備

※2 博士後期課程学生の大学独自財源による支援（自走化）も含めた将来展望や検討状況を記載ください。

FY2033の目標値

|  |  |
| --- | --- |
| 博士後期課程の入学者数（SPRING非選抜学生含む）（人） | ○○○ |
| 博士後期課程修了時の就職率（SPRING非選抜学生含む）（％） | ○○○ |
| ○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○ |
| ○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○ |

※1 令和6年度または令和7年度公募要領の「プロジェクトの波及効果について（9～10ページ）」を確認いただき、全博士後期課程学生入学者数、就職率の他、具体的な目標値を設定できるようであれば記載ください。新たな目標値を設定しない場合は、行全体を削除してください。

※2 就職者の定義については、以下を参照ください。

就職者：自営業主等、無期雇用労働者、雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の有期雇用労働者及び進学者のうち就職している者を含む。

**２．進路詳細の把握方法**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**３．目標（FY2028に達成すべきプロジェクトの目標）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※ 「１．ビジョン（FY2033のありたい姿）」に向け、FY2028に本プロジェクトで達成すべき目標を400字程度で説明ください。その際、問題（目標と現状の間のギャップ）を踏まえて目標を設定してください。

FY2028の目標値

|  |  |
| --- | --- |
| 選抜学生の博士課程修了時の就職率（％） | ○○○ |
| ○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○ |
| ○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○ |

※1 令和6年度または令和7年度公募要領の「プロジェクトの波及効果について（9～10ページ）」を確認いただき、就職率の他、具体的な目標値を設定できるようであれば記載ください。新たな目標値を設定しない場合は、行全体を削除してください。

※2 就職者の定義については、3ページを参照ください。

**４．プロジェクト**

**＜令和7年度のプロジェクト推進にあたっての全体方針＞**

|  |
| --- |
| ・例：令和6年度の○○○○○○という実施状況を踏まえて、令和7年度は○○○○○○の点を重視の上、プロジェクトを推進する。・・ |

※1 「3．目標（FY2028に達成すべきプロジェクトの目標）の達成に向け、特に「令和7年度のプロジェクト推進」で重視すべき点や方針を箇条書きで端的に説明ください。なお、令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点も踏まえて記載ください。

※2 上記全体方針に基づき、必要に応じて以下「４－１.」「４－２.」へ追記・修正ください。

**４－１．　実施計画概要（キャリア開発・育成コンテンツのみ抜粋）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **＜前期＞** | FY2024 | FY2025 | FY2026 | FY2027 | FY2028 |
| **海外留学・海外派遣研修の企画・実施（研究目的を除く）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| 実施項目名②：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
| **インターンシップの企画・実施（研究目的を除く）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| **トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施（研究目的を除く）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| **キャリアパス開発に関する企画・実施（研究目的を除く）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| **その他（研究目的を除く）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| **大学の取組（今後の予定（SPRING事業以外））（研究目的を除く）** |
| 実施項目名①：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

※1 後述の４－２の「キャリア開発・育成コンテンツ」に係る実施内容について、実施項目名を対応の上、具体的なスケジュール（企画・検討、実施、フィードバック等）を記載ください。

※2 「大学の取組（今後の予定（SPRING事業以外））（研究目的を除く）」については、実施項目名や具体的なスケジュール（企画・検討、実施、フィードバック等）を記載ください。

※3 実施予定がない場合、実施項目名①には「なし」と記載し、実施項目名②は削除ください。また、空欄の行は削除ください。

※4 必要に応じて行は適宜追加ください。

※5 本表は、行間固定値12で構いません。

**４－２．　実施計画**

※ 本年度に実施予定であるものについてのみ、申請書様式1より転記ください。

**＜FY20○○＞**

|  |
| --- |
| **研究奨励費の支援** |
| 目標 | （記載不要） |
| 問題（目標と現状のギャップ） | （記載不要） |
| 実施内容① | 後述４－３の枠数と枠数を設定した根拠・理由についても必ず説明ください。実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。 |
| 実施期間① | ○月～○月 |
|  |  |
| **研究費の支援** |
| 目標 | 研究費の支援を以て何を成し遂げたいのか、３で記載した目標に対する小目標を記載ください。 |
| 問題（目標と現状のギャップ） |  |
| 実施内容①（問題を解決するためにやるべきこと） | 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。 |
| 実施期間① | ○月～○月 |
|  |  |
| **キャリア開発・育成コンテンツ（海外留学・海外派遣研修の企画・実施（研究目的を除く））** |
| 目標 | 海外留学・海外派遣研修の企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、３で記載した目標に対する小目標を記載ください。本年度に本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。 |
| 問題（目標と現状のギャップ） |  |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。４－１の実施項目名と対応させてください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点① | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。なお、令和7年度新規支援大学については、記載不要です。 |
| 実施内容①（問題を解決するためにやるべきこと） | 令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 実施期間① | ○月～○月 |
| 最適化① | 提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、（学生へのアンケート調査、海外留学及び海外派遣研修に係るプログラム参加者数のモニタリング等）社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラシュアップしていく予定なのかを（令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点も踏まえて）記載ください。また、学生にどの程度の参加（人数・必修or任意等）を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください。＜社会ニーズの把握方法＞・＜学生ニーズの把握方法＞・＜評価指標＞・例：参加人数推移および満足度＜（令和8年度に向けた）ブラシュアップの方法＞例：・参加人数を把握する。また、参加者に対してアンケート調査を実施する。・評価指標（参加人数推移および満足度）に対して、数値目標を前年度比○％増（参加人数推移）および○点／100点（満足度）とし、数値未達の場合は○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○をする。・その他、○○○○○を実施し、令和8年度に向けてブラシュアップする。＜参加人数＞・例：選抜学生○人／○人（全選抜学生必修）※本年度学生選抜枠数が100の場合、分母と分子は100となります。・例：選抜学生○人／○人（任意）※本年度学生選抜枠数が100の場合、分母は100となります。分子は貴学が目標とする数字を記載いただく形になります。・例：選抜学生○人／○人（選択必修。対象はD1のみ）※本年度学生選抜枠数が100の場合であって、D1が40の場合、分母は40となります。分子は40以下であって、貴学が目標とする数字を記載いただく形になります。・例：選抜学生○人／○人（任意。但し、選抜学生D1：○名は参加必須）その他、非選抜学生100人程度参加予定。※本年度学生選抜枠数が100の場合であって、D1が40の場合、分母は100となります。分子は40以上であって、貴学が目標とする数字を記載いただく形になります。・例：選抜学生○人／○人（必修。但しD1～D3のうち1回のみ受講のため、分母は目安）※本年度学生選抜枠数が100の場合、分母は100となります（なお、3年度間中に1回の受講であり、必ずしも100ではありませんので、その旨分かるよう括弧内で補足ください）。分子は貴学が目標とする数字を記載いただく形になります。**※いずれの記載例も、本年度の受講対象人数および貴学が目標とする参加人数を概ね把握することが目的となります。本趣旨に鑑みて、記載いただくようお願いいたします。**＜参画を促すための工夫＞・ |
| 実施項目名② | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。４－１の実施項目名と対応させてください。実施項目名が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。実施内容が１つのみの場合は、②の行は削除ください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点② | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。なお、令和7年度新規支援大学については、記載不要です。 |
| 実施内容②（問題を解決するためにやるべきこと） | 令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 実施期間② | ○月～○月 |
| 最適化② | 提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、（学生へのアンケート調査、海外留学及び海外派遣研修に係るプログラム参加者数のモニタリング等）社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラシュアップしていく予定なのかを（令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点も踏まえて）記載ください。また、学生にどの程度の参加（人数・必修or任意等）を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください。＜社会ニーズの把握方法＞・＜学生ニーズの把握方法＞・＜評価指標＞・本様式P10の例示を参照ください。＜（令和8年度に向けた）ブラシュアップの方法＞・本様式P10の例示を参照ください。＜参加人数＞・本様式P10～P11の例示を参照ください。＜参画を促すための工夫＞・ |
|  |  |
| **キャリア開発・育成コンテンツ（インターンシップの企画・実施（研究目的を除く））** |
| 目標 | インターンシップの企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、３で記載した目標に対する小目標を記載ください。本年度に本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。 |
| 問題（目標と現状のギャップ） |  |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。４－１の実施項目名と対応させてください。実施項目名が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点① | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。なお、令和7年度新規支援大学については、記載不要です。 |
| 実施内容①（問題を解決するためにやるべきこと） | 令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 実施期間① | ○月～○月 |
| 最適化① | 提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、（企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、インターンシップ参加者数のモニタリング等）社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラシュアップしていく予定なのかを（令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点も踏まえて）記載ください。また、学生にどの程度の参加（人数・必修or任意等）を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください。＜社会ニーズの把握方法＞・＜学生ニーズの把握方法＞・＜評価指標＞・本様式P10の例示を参照ください。＜（令和8年度に向けた）ブラシュアップの方法＞・本様式P10の例示を参照ください。＜参加人数＞・本様式P10～P11の例示を参照ください。＜参画を促すための工夫＞・ |
|  |  |
| **キャリア開発・育成コンテンツ（トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施（研究目的を除く））** |
| 目標 | トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、３で記載した目標に対する小目標を記載ください。本年度に本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。 |
| 問題（目標と現状のギャップ） |  |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。４－１の実施項目名と対応させてください。実施項目名が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点① | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。なお、令和7年度新規支援大学については、記載不要です。 |
| 実施内容①（問題を解決するためにやるべきこと） | 令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 実施期間① | ○月～○月 |
| 最適化① | 提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、（企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等）社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラシュアップしていく予定なのかを（令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点も踏まえて）記載ください。また、学生にどの程度の参加（人数・必修or任意等）を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください。＜社会ニーズの把握方法＞・＜学生ニーズの把握方法＞・＜評価指標＞・本様式P10の例示を参照ください。＜（令和8年度に向けた）ブラシュアップの方法＞・本様式P10の例示を参照ください。＜参加人数＞・本様式P10～P11の例示を参照ください。＜参画を促すための工夫＞・ |
|  |  |
| **キャリア開発・育成コンテンツ（キャリアパス開発に関する企画・実施（研究目的を除く））** |
| 目標 | キャリアパス開発に関する企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、３で記載した目標に対する小目標を記載ください。本年度に本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。 |
| 問題（目標と現状のギャップ） |  |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。４－１の実施項目名と対応させてください。実施項目名が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点① | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。なお、令和7年度新規支援大学については、記載不要です。 |
| 実施内容①（問題を解決するためにやるべきこと） | 令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 実施期間① | ○月～○月 |
| 最適化① | 提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、（企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等）社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラシュアップしていく予定なのかを（令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点も踏まえて）記載ください。また、学生にどの程度の参加（人数・必修or任意等）を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください。＜社会ニーズの把握方法＞・＜学生ニーズの把握方法＞・＜評価指標＞・本様式P10の例示を参照ください。＜（令和8年度に向けた）ブラシュアップの方法＞・本様式P10の例示を参照ください。＜参加人数＞・本様式P10～P11の例示を参照ください。＜参画を促すための工夫＞・ |
|  |  |
| **キャリア開発・育成コンテンツ（その他（研究目的を除く））** |
| 目標 | その他（4つの項目に当てはまらない内容）について何を成し遂げたいのか、４－１で記載した目標に対する小目標を記載ください。本年度に予定していない場合、全行「なし」と記載ください。 |
| 問題（目標と現状のギャップ） |  |
| 実施項目名① | 実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。４－１の実施項目名と対応させてください。実施項目名が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。 |
| 令和6年度の実施状況および反省点① | 実施状況については、良かった点・悪かった点に分けて、端的に記載ください。なお、令和7年度新規支援大学については、記載不要です。 |
| 実施内容①（問題を解決するためにやるべきこと） | 令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点を踏まえて、変更点があれば反映ください。 |
| 実施期間① | ○月～○月 |
| 最適化① | 提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、（企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等）社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラシュアップしていく予定なのかを（令和6年度支援大学については、令和6年度の実施状況や反省点も踏まえて）記載ください。また、学生にどの程度の参加（人数・必修or任意等）を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください。＜社会ニーズの把握方法＞・＜学生ニーズの把握方法＞・＜指標＞・本様式P10の例示を参照ください。＜（令和8年度に向けた）ブラシュアップの方法＞・本様式P10の例示を参照ください。＜参加人数＞・本様式P10～P11の例示を参照ください。＜参画を促すための工夫＞・ |
|  |  |
| **大学事務** |
| 大学事務費の用途 | 本年度の用途を記載ください。また、「本大学事務費で人件費をいくら捻出予定なのか」について以下に記載ください。 |
| 本大学事務費で捻出する人件費概算（本年度） | 概ね○千円 |

**４－３．　予算計画概要**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | FY2024 | FY2025 | FY2026 | 備考 |
| 単価 | ○千円 | ○千円 | ○千円 |  |
| 選抜学生枠数 | ○枠 | ○枠（○枠） | ○枠（○枠） |  |
| うちD1:○枠 | うちD1:○枠 | うちD1:○枠 | 内数は予定 |
| うちD2:○枠 | うちD2:○枠 | うちD2:○枠 |
| うちD3:○枠 | うちD3:○枠 | うちD3:○枠 |
| うちD4:○枠 | うちD4:○枠 | うちD4:○枠 |
| うち、本年度新規選抜:○枠 | うち、本年度新規選抜:○枠 | うち、本年度新規選抜:○枠 |
| 合計 | ○千円 | ○千円 | ○千円 | 単価×枠数 |

注1\_括弧内は、うち追加配分枠。

注2\_その他、FY2025およびFY2026について、復学者用予備枠の設定あり（各○枠）。表中の「合計」には含まれていません。なお、復学者用予備枠は、原則、使用できません（使用する場合は、事前にJSTに連絡ください）。

※1\_2027年度以降の枠数は確定しておりません。2027年度以降の枠数については、今後の支援状況等を踏まえて改めて通知いたします。

※2\_既支援大学については、令和6年度の計画書様式1の情報（計画変更をした場合は変更後の情報）を記載ください。令和7年度公募の新規支援大学については、FY2024の記載は不要です。なお、学年の内数について、1枠で2名の支援をした場合は、当該枠で最初に支援した学生の学年を記載ください。

※3\_五年一貫制を採用している場合、3年生をD1としてカウントしてください。

**４－４．　予算計画**

計画書様式4参照。

**５．学生選抜方法**

**①募集方法**

（方法を記載ください）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**②応募要件**

（要件を記載ください）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**③選抜方法・選考の観点（方針）**

（方針を記載ください）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※1 1頁以内で簡潔に記載ください。

※2 経営層（大学本部）や外部有識者がどのように関与するかも明確に記載ください。

※3 留学生を支援する場合は、より多様な国・地域からの受け入れを進めるような方策や、受け入れが想定される国・地域について記載ください。

※4 学内のSPRINGに係る選抜要綱を、計画書様式1別紙として別途提出してください。

本年度の目標値

|  |  |
| --- | --- |
| 採択率（倍率）　※SPRING応募数/SPRING選抜枠数 | ○○○ |

**④選抜体制**

計画書様式3参照。

**６．審査コメントとその対応**

**①**○○○○○○○○○○○○○○○○○○

対応：

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**②**○○○○○○○○○○○○○○○○○

対応：

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※\_審査コメントに対するアクション、結果等を簡潔に記載してください。なお、全ての通知コメントではなく、対応が必要となるもののみ記載してください。

例）「産業界とのネットワークを強化していただきたい。」との審査コメントに対して、計画書において運営体制と審査体制における外部有識者の役割を明記することで対応した。また、地域のコンソーシアムを活用し、選抜学生向けに地元企業とのマッチングの場を提供し、共同研究に向けた検討を実施することとした（本計画書P○参照）。

以上